

# ABIC 国際社会貢献センター

# Information Letter

No. 46 2016年6月

第51回理事会・第16回通常総会を開催	2
2015年度（平成27年度）事業報告	2
2016年度（平成28年度）事業計画	5
2015年度（平成27年度）決算及び2016年度（平成28年度）予算	6
役員等	6
<hr/>	
<b>外国企業支援</b>	
インド某社アポイント取得・同行商談 <sup>てんまつ</sup> 願未記	7
<b>自治体・中小企業支援</b>	
茨城県の中小企業貿易支援業務	8
<b>留学生支援</b>	
春の新入館生歓迎バザー	
東京国際交流館	9
兵庫国際交流会館	9
<hr/>	
<b>事務局だより</b>	
関西会員懇親会	10
ABIC事務局組織	10
会員の種類	11
法人・個人正会員／賛助会員一覧、活動会員数	11
賛助会員入会のお願い	12

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)  
Action for a Better International Community

<http://www.abic.or.jp>

〒105-6123 東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル23階  
Tel : 03-3435-5973 Fax : 03-3435-5970  
e-mail : mail@abic.or.jp

【関西デスク】  
〒541-0053 大阪市中央区本町4-4-24 住友生命本町第2ビル9階  
Tel & Fax : 06-6226-7955  
e-mail : kansai-desk@abic.or.jp

## 第51回理事会・第16回通常総会を開催

5月31日（火）、日本貿易会会議室において第51回理事会ならびに第16回通常総会がそれぞれ開催されました。議題として①2015年度事業報告及び収支決算、②2016年度事業計画及び活動予算、③任期満了に伴う役員の選任、④常務理事の互選が審議され、いずれも原案通り承認されました。

また、関伊知郎 常務理事・事務局長（伊藤忠より出向）が退任し、後任として山口俊之氏（双日より出向）が就任することが決まりました。関事務局長は、今後は参与としてABICの活動を支援することになりました。

副会長には、垣内威彦 三菱商事社長が新たに委嘱されました。



### 関伊知郎 前常務理事・事務局長退任挨拶

2012年7月から4年弱ABICの事務局長として勤めました。率直に申し上げてこの間は、私にとり極めて充実し且つ多くの素晴らしい出会いに恵まれました。

社会貢献とはおよそ無縁の商社マンだった私が、優秀な会員とコーディネーターに支えられABICの舵を何とか取ることができました。ABICは日本貿易会が作った業界NPOの草分けとして今やわが国でも異彩を放つ存在になっています。地方創生、グローバル人材育成など会員が活躍する場面は増加の一途です。今後はABICの成長を側面から応援させていただきます。6月からはビジネスの現場に復帰していますが、ABICでの経験が役に立つものと確信しています。ABIC在任中は大変お世話になり本当に有難うございました。



### 山口俊之 常務理事・事務局長就任挨拶

常務理事・事務局長のバトンを引き継ぎました山口俊之です。会員とコーディネーターのみなさまがこれまでに多くの活動実績を積み上げ、ABICの存在価値を高めてくださり、組織が成長しています。私もボーイスカウトで培った奉仕の精神、音楽で養成したリズム感、バスケットボールで鍛えたジャンプ力を使い、社会のため、ABIC発展のために、明るく、楽しく、生き生きと活動できる場を設け、社会貢献、国際貢献に全力で取り組みます。どうぞよろしくお願ひ致します。



## 2015年度（平成27年度）事業報告

活動分野	主要事業	主な活動状況 ＜活動実績：2015年度 延べ人数 2,387名＞ ＜活動会員数：2,671名（2014年度末比110名増加）＞	活動実績 (延べ人数)		
			2015年度	2014年度	00~15 年度累計
政府機関 関連	ODA関連等への人材推薦・紹介、政府関係諸事業の受託、本邦中小企業支援関連への人材推薦・紹介、人材育成セミナー等への講師派遣等	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外での活動：JICA海外長期専門家（ザンビア、タンザニア）、科学技術振興機構インド事務所長、内閣府対米広報短期派遣5名。国際交流基金「日本語パートナーズ事業」パートナー（ベトナム2名）。在ロシア日本センター研修事業講師派遣4名。</li> <li>国内での活動：科学技術振興機構専門職、JETRO非常勤嘱託職員・アドバイザー、JETRO輸出有望案件発掘支援事業専門家、中小企業基盤整備機構の中小企業支援アドバイザー、海外産業人材育成協会（HIDA）アドバイザーにそれぞれ複数名。</li> <li>上記諸機関に加え、文科省留学生交流拠点整備事業委員及び留学生住環境の在り方検討委員、国際交流基金日本語パートナーズ事業委員等を務め、また、文部科学省、経済産業省、中小企業庁、近畿経済産業局、関東経済産業局、関東財務局等とのコンタクトを継続・強化し、公募案件への推薦・紹介・受託による活動を行った。</li> </ul>	70	114	1,367

活動分野	主要事業	主な活動状況 <活動実績：2015年度 延べ人数2,387名> <活動会員数：2,671名（2014年度末比110名増加）>	活動実績 (延べ人数)		
			2015年度	2014年度	00~15 年度累計
NGO/NPO 等非政府機関	NGO等への 人材推薦・ 紹介、活動強 化への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO国連世界食糧計画WFP協会アドバイザー継続。技能ボランティア海外派遣協会（NISVA）事務局長代理紹介。NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会の賛助会員としてNPO活動に関する情報収集を行った。</li> </ul>	3	5	168
地方自治体・ 中小企業支援	地方自治体の 推進する 中小企業育 成支援（販路 開拓、海外ビ ジネス促進 等）や農産 品輸出促進・ 企業誘致等 への協力、 及び中小企 業、諸組織 への直接支 援・協力（海 外進出・経 営支援等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間業務委託契約締結先の地方自治体（和歌山県/わかやま産業振興財団、山口県/産業振興財団、富山県/新世紀産業機構、千葉県/ジェトロ千葉貿易相談センター、石川県、横浜市、宮崎県、愛媛県、かがわ産業支援財団及びククリア（自治体国際化協会））との取り組み継続に加え高知県、高知県大川村、福井県との取り組みを開始した。</li> <li>他の地方自治体関係では、東京都中小企業振興公社ビジネスナビゲーター及び海外販路開拓アドバイザーの他、青森県/神奈川県/埼玉県/茨城県/島根県/佐賀県の企業誘致や販路開拓アドバイザー、福島県での国際化支援アドバイザーとして活動。また、自治体関連組織での翻訳活動（英語に加え韓国語、タイ語、ロシア語、中国語、ベトナム語等）、私企業での海外ビジネスアドバイザー等の紹介・推薦を行った。加えて、各自治体や大手金融機関主催のセミナーへの講師派遣も要請に基づき、都度行った。関西デスクでは、大阪府/東大阪市共同のクリエーションコア、大阪市/国際経済振興センター継続の他、神戸市/経済局のアジア進出支援センターと産業振興財団に総計50名のABICのメンバーが登録済みでその中から必要に応じて中小企業へのサポーターとして長期・短期で活躍している。地球環境センター継続。滋賀県産業支援プラザとは覚書を更新し海外進出業務を含めた支援業務を遂行。</li> <li>2015年度も過去の活動実績への評価が高まり、口コミ、ホームページ、会員経由等により、これまで実績の無かった地方自治体、中小企業あるいは諸組織からの支援要請が増加し、活動機会が広がっている。</li> </ul>	976	802	5,757
外国企業支援	外国企業の 日本進出・ 販路開拓支援 及び日本企業 海外赴任者研 修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>8年目となった国際ナノテクノロジー国際総合展やFoodex 2016でのバイリンガル・ビジネス・アドバイザーをスペイン語圏在京大使館等から要請された。また、東南アジア企業への人材紹介、日本でのビジネスについての相談や商談支援も継続。在日サウジアラビア大使館商務官付き嘱託職員継続。</li> <li>日本企業の海外赴任者赴任前研修等（日本貿易会から受託等）への講師派遣も継続している。他企業や大手異文化コミュニケーション研修会社へも異文化理解、グローバルビジネス交流等について講師派遣等、活動の幅を広げており活動数増が期待できる。</li> </ul>	106	114	746
教 育	大学及び 社会人講 座	<ul style="list-style-type: none"> <li>47大学・組織へ講師派遣。年間講座数77、コマ数1,733を実施。対象組織数、年間講座数とも堅調に推移した。2015年度は特に新規会員の活動機会提供を優先し、講師の入れ替えや魅力ある講座の組み立てに注力した。</li> <li>東京外国語大学社会・国際貢献情報センターと社会・国際貢献に関する包括協定書に基づき継続して定例会議開催。</li> <li>文部科学省主催のセミナーなどでABIC大学講座の取り組みPR活動を行った成果として、神戸大学より講座新設依頼があり2016年度での開講決定。引き続き新規講座獲得に向けて各大学との協議を行っている。</li> </ul>	273	278	4,114
	国際理解 教育支援 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中高校生や教職員への国際理解講義・講演会へ引き続き注力した。千葉県教育委員会での新任校長・教頭研修で2回講演を実施した。</li> <li>国際理解教育では、市立横浜商業高校、青山学院中等部、市立横浜サイエンスフロンティア高校（=2015年度スーパーグローバルハイスクール/SGHに採択）、津市立栗津中学校、関西大学高等部（SGH）、等小中高校で出前授業を実施した。</li> <li>関西学院大学（2003年2月に連携協力協定締結）との協力関係を進め、引き続き海外からの留学高校生と日本の高校生との「高校生国際交流の集い」（1泊2日）を関西学院大学で実施した。関東でも青山学院大学と連携し「高校生国際交流の集いABICキャンプ」を青山学院大学で実施した。</li> <li>東京都多摩市及び新宿区において教育委員会等に協力し、外国籍児童・生徒に対する日本語学習支援を引き続き実施。</li> <li>滋賀県教育委員会学校支援センター HPIにABIC関西デスクの国際支援教育活動内容を登録継続。京都市教育委員会にも同様の団体登録継続。</li> </ul>	172	140	1,209
在日留学生 支援	在日留学生 支援・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京国際交流館において、引き続き日本語広場、日本文化教室に多数の講師陣を送ると共に、バザー、フェスティバル等の催しにも協力。今年度から、兵庫国際交流会館でも日本語教室、日本文化教室（書道、華道、空手）を開始した。</li> <li>2006年度から開始した東京国際交流館在住の留学生家族支援（健康診断、子女入園・入学手続き等）を継続し、大変好評を得ている。</li> </ul>	641	458	3,025
国際イベン ト等	国際イベント 等への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は大きな国際大会へのボランティア派遣要請は無かった。</li> </ul>	0	49	185

活動分野	主要事業	主な活動状況 <活動実績：2015年度 延べ人数2,387名> <活動会員数：2,671名（2014年度末比110名増加）>	活動実績（延べ人数）		
			2015年度	2014年度	00~15年度累計
その他活動・一般人材紹介等	その他活動・一般人材紹介等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会員会社の社会貢献事業への支援（三井物産推進の「在日ブラジル人子女教育支援」①奨学金供与プロジェクト②NPO等支援プロジェクト等継続）。</li> <li>● 昨年度以前に採用された中京大学/日本文化大学/神田外語大学の教授・講師、東京外国語大学職員、立命館大学インド事務所長、科学技術振興機構インド事務所長が継続。新たに科学技術振興機構（招へい事業担当及び安全保障・貿易管理担当）、及び日仏会館事務局長（16年度開始）の人材紹介を行った。</li> <li>● ABIC日本語教師養成講座（第18、19期）を継続し実施した。第1期から19期までの講座修了者179名の内約半数が地方公共団体や東京国際交流館において日本語講師として活躍している。また「エコロジー促進事業共同組合」が主催する外国人技能研修生集中研修の一部としての日本語研修に講師として参加、各地の国立青年の家で会員が活動している。</li> <li>● 日本貿易会内の業務効率化支援として、午餐会・セミナーの講演録作成への協力を継続。</li> </ul>	146	110	1,221
合 計			2,387	2,070	17,792

活動会員関係	活動会員増強	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会貢献・ABIC委員会委員を通じて、各社OB/OGへの配布文書や退職時の一連書類に同封。</li> </ul>
	活動会員スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今年度も大学・EC等 講座講師勉強会を実施した（東京11月2日 24名参加）。3月23日に関西地区でも開催。</li> <li>● 2006年10月に開講した日本語教師養成講座を継続し、今年度は第18、19期合計24名が修了証を取得。第1期からの講座修了者は179名で修了者は主にボラティアとしての日本語講師として活躍している。</li> </ul>
	懇親会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京で9月9日、大阪で3月23日に開催。会長以下、多数の活動会員、関係者が出席。</li> </ul>
広報活動等		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動会員、関係先向けの『ABIC Information Letter』を発行（年3回 6/11/3月 No.43/No.44/No.45）。</li> <li>● 日本貿易会の機関誌『日本貿易会月報』に毎月「ABICプラザ」のコーナーでABICの活動報告や活動会員のレポートを掲載し、ABIC活動のPR、紹介に努めた。また日本貿易会のホームページにおいてもABICのホームページをリンク。</li> <li>● BS11報道ライブ21「現代ビジネス講座」にてABICの紹介番組放映（2015年11月20日）。</li> <li>● 経済同友会、日本商工会議所でのプレゼン実施。</li> <li>● 文部科学省主催のグローバル人材育成推進事業、留学生交流拠点整備事業のシンポジウム及び国際交流基金日本語パートナーズ事業委員会等でABICのPRに努めた。</li> <li>● 今年度は東京国際交流館主催の春・秋の新入館者歓迎会でのバザーに加え兵庫国際交流会館でも秋にバザーを実施した。また、夏の「交流館フェスティバル 2015」において、ABICが指導している茶道、華道、書道コーナーを設けて来場者に対応した。バザーについては、ABIC活動会員並びに社会貢献・ABIC委員会経由法人正会員各社役員から多くの品物を寄贈頂き、売上金の殆どを交流館の行事に役立てて貰うべく寄贈した。</li> </ul>
事務局関係	事務局体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事務局は昨年度に引き続き23名体制とした。なお、在日ブラジル人子女教育支援の特定プロジェクトスタッフ及びパートタイマーとして、複数名任用。</li> </ul> <p>事務局長： 関 伊知郎                      経理・総務： 名鏡敬治、秋元里美、青柳友紀                      地方自治体・中小企業支援グループ： 川俣二郎、野津 浩、白石一郎、新妻純一、（高塚謙次）                      外国企業支援グループ： 西山勝昭、宮内雄史                      大学・EC講座グループ： 森 和重、猪狩真弓、布施克彦、恩田英治、坂野正典、（藤原照明、吉富茂隆）                      小中高校国際理解教育グループ： 高塚謙次、（川俣二郎）                      産学協同プロジェクトチーム： （川俣二郎、橋 弘志、松尾謙二、高塚謙次）                      留学生支援グループ： 田中武夫、鋤形 勲、（鹿志村 馨）                      中南米デスク： （森 和重）                      在日ブラジル人子女教育支援（三井物産案件）チーム： （森 和重）、畑 宏幸、高岡淳二、星野和俊、柴崎敏男、藤原真理、松本一子                      関西デスク： 藤原照明、橋 弘志、吉富茂隆、松尾謙二、鹿志村 馨</p>
	事務局運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経理担当職員は常勤パートとした。</li> <li>● 全省庁統一資格の更新完了（2016～18年度分）。</li> </ul>

会員状況		法人	個人
賛助会員	法人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5社（2014年度比増減無）：(有)イーコマース研究所、(株)エックス・エヌ、協同木材貿易(株)、(一社)国際行政書士機構、NPO法人賛否両論（社名五十音順）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 403名（2014年度末比8名増）</li> </ul>
	活動会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2,671名（2014年度末比110名増）</li> </ul>	

年度毎活動実績	延べ人数
2000年度 (H12)	17
2001年度 (H13)	237
2002年度 (H14)	444
2003年度 (H15)	589
2004年度 (H16)	569
2005年度 (H17)	751
2006年度 (H18)	779
2007年度 (H19)	1,144
2008年度 (H20)	1,305
2009年度 (H21)	1,440
2010年度 (H22)	1,428
2011年度 (H23)	1,390
2012年度 (H24)	1,602
2013年度 (H25)	1,640
2014年度 (H26)	2,070
2015年度 (H27)	2,387

## 2016年度（平成28年度）事業計画

活動分野	主要事業	重点活動内容	延べ人数	
			2016年度 目標	2015年度 実績
政府機関 関連	ODA関連の 人材推薦、 政府機関諸 事業の受託、 人材育成セ ミナー等へ の講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外での活動：JICA長期専門家・シニア海外ボランティア、国際交流基金「日本語パートナーズ事業」、内閣府対米広報短期派遣等の人材紹介・推薦。</li> <li>国内での活動：JETRO中小企業海外進出支援・非常勤嘱託職員・貿易相談員・新輸出大国コンソーシアム事業、中小企業基盤整備機構中小企業支援事業アドバイザー、及びHIDA（財団法人海外産業人材育成協会）等での研修講師派遣の受託増。</li> <li>内閣府、経済産業省、外務省、文部科学省、観光庁、農林水産省、国際協力基金、JETRO、JICA、HIDA等とのコンタクト維持・強化。</li> </ul>	80	70
NGO/NPO 等非政府機関	NGO等への 人材推薦・ 紹介、活動強 化への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>NGO、他NPO、国際機関とのコンタクト継続。</li> </ul>	3	3
地方自治体・ 中小企業支援	地方自治体 の国際化・ 中小企業の 販売促進活 動・海外進 出・経営支 援・協力、 中小企業へ の直接支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間業務委託契約締結先の地方自治体（和歌山県/わかやま産業振興財団、山口県/産業振興財団、石川県、富山県/富山県新世紀産業機構、福井県、愛媛県、高知県、宮崎県、横浜市など）との一層の関係強化。新規地方自治体との年間業務委託契約の獲得。</li> <li>継続支援・協力先の地方自治体（東京都ビジネスナビゲーター・海外販路開拓非常勤職員、大阪府/東大阪市共同のクリエーションコア、大阪国際経済振興センター、神戸市/産業振興財団、神戸市商工会議所、滋賀県産業支援プラザ、宮城県・和歌山県・愛媛県企業誘致アドバイザー等々）との一層の関係強化。他地方自治体（新潟県、佐賀県等）への積極的なPR推進の継続と受託案件の増大。</li> <li>ジェトロ等外郭団体や中小企業からの直接支援要請に即応。</li> </ul>	1,000	976
外国企業支援	外国企業の日 本進出・販路 開拓支援及び 海外赴任者研 修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際見本市や海外からの各種ミッション、在日大使館、来日外国企業の商談等への協力。外国機関駐日オフィスとのコンタクト強化・拡大。</li> <li>在日海外企業との連携強化・拡大。海外赴任者研修等講師派遣（含、日本貿易会との協働）の継続。</li> </ul>	100	106
教 育	大学及び 社会人講 座等での 講座実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施大学・組織およびコマ数の維持を図りつつ、講師陣の拡充を図り神戸大学、福山大学、職業能力開発総合大学校等新規大学の発掘を積極的に行う。</li> <li>提案型講座の拡大。</li> <li>2006年1月に包括協定締結の立命館APUとの一層の関係強化。</li> <li>2003年12月に連携協力協定書締結の関西学院大学との各種協力関係の維持・拡大（講座維持、国際理解教育協力等）。</li> <li>スーパーグローバル大学・グローバル人材育成推進事業採択大学へのアプローチ強化（筑波大学、山口県立大学、関西学院大学、創価大学他）。</li> </ul>	280	273
	国際理解 教育支援 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小高校への講師派遣</li> <li>在日外国人児童への日本語指導等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーグローバルハイスクールをはじめ小中高校での講義・講演先の開拓。文部科学省、自治体教育委員会並びに日本経済教育センターとの連携強化。</li> <li>産学共同プロジェクトとして、関西学院大学・青山学院大学と協力して2007年度から実施している「高校生国際交流の集い」の企画・実施。</li> <li>多摩地区の小学校における在日外国人児童への日本語指導の継続支援。新宿区教育委員会「日本語指導支援（外国にルーツを持つ児童・生徒向け日本語指導）」支援の継続。</li> </ul>	170
在日留学生 支援	在日留学生 支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京国際交流館における、日本語広場、日本文化教室に多数の講師陣を派遣すると共にバザー、フェスティバル等の催事への協力継続。新規に兵庫国際交流会館における日本語教室、日本文化教室の開講、バザーへの協力。</li> <li>2006年度から開始し好評を博している東京国際交流館在住の留学生家族支援（妊娠、出産、通院、育児、健康管理、入園・就学等）のボランティア活動の充実。</li> </ul>	650	641
国際イベント 等	国際イベント 等への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラグビーワールドカップ2019組織委員会との連携。</li> </ul>	0	0
その他活動・ 一般人材紹 介等	その他活動・ 一般人材紹 介等	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO、NGO主催のイベントへのボランティア人材紹介、国際観光振興機構の善意通訳の紹介。</li> <li>三井物産推進の「在日ブラジル人子女教育支援」プロジェクトへの実務支援の継続、日本貿易会並びに法人正会員各社の実施する社会貢献活動への人材面での支援・協力。</li> <li>中京大学・日本文化大学への教授・講師、東京外国語大学事務員、グローバル教育講師の契約更新継続。神田外語大学嘱託職員4名、立命館大学インド事務所長、科学技術振興機構インド事務所長等教育研究機関を主体とした人材の契約更新継続。民間企業への新規人材紹介発掘。</li> <li>府中刑務所での通訳・翻訳支援活動継続。</li> <li>ABIC日本語教師養成講座教師（継続）に加え、社会貢献に資する求人への積極的対応。日本貿易会の事務効率化支援・協力。</li> </ul>	140	146
合 計			2,423	2,387

活動会員関係	活動会員勧誘	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会貢献・ABIC委員会経由で各社OB/OGへの配布協力の継続要請、およびOB/OG会総会及びホームページ等でABIC紹介の機会を買い勧誘を実施。また、活動会員へも引き続き知己勧誘を依頼。</li> </ul>
	賛助会員勧誘	<ul style="list-style-type: none"> <li>賛助会員数の増加に向け、活動が決まった会員への賛助会員入会依頼を継続。</li> </ul>
	活動会員スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教師養成講座の第18期、第19期を継続開講（2006年10月から継続）。受講希望者の増加に対応する為今年より定員を8名から14名に増員。</li> <li>大学等講座講師勉強会（含、英語授業法）を継続実施。</li> </ul>
	懇親会	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京・大阪での開催を予定。</li> </ul>
法人会員関係	法人会員勧誘	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人会員増に向けて注力。</li> </ul>

広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動会員、関係先向けの「ABIC Information Letter」を発行（年3回 6/11/3月）。</li> <li>日本貿易会の機関誌『日本貿易会月報』に毎月「ABICプラザ」のコーナーやJFTC News（英文）でABICの活動報告や活動会員のレポートを掲載。</li> <li>ABICパンフレット・ホームページの内容見直し・更新及び一層の充実。</li> <li>東京国際交流館・兵庫国際交流会館が主催する春・秋のバザーへの協力や「交流館フェスティバル」にてABICのPRや活動紹介を行う。</li> <li>文部科学省の「留学生交流拠点整備事業」、「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」、国際交流基金「日本語パートナーズ事業」委員会等でのABIC広報活動継続。</li> <li>新聞、TV、ラジオ、雑誌等へのABICの露出度拡大（マスコミへの積極的対応）。</li> </ul>	
事務局関係	事務局体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネーター相互の情報交換促進のためコーディネーター会議を年4回開催。</li> <li>東京事務局と関西デスクの連携強化。</li> </ul>
	事務局運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種データの整理等、業務改善への更なる注力。</li> <li>諸契約、規則・規程の整備・充実。</li> </ul>

## 2015年度（平成27年度）決算及び 2016年度（平成28年度）予算

(単位：千円)

科目	2015年度 決算額	2016年度 予算額
I 経常収益		
(1) 受取会費	7,015	7,015
法人会費	(4,850)	(4,850)
個人会費	(2,165)	(2,165)
(2) 受取寄付金	159	
(3) 事業収益	95,984	79,344
日本貿易会	(24,192)	(24,192)
その他	(71,792)	(55,152)
(4) 雑収益	15	5
経常収益計	103,173	86,364
II 経常費用		
(1) 事業費	75,112	67,061
(2) 管理費	30,639	28,190
経常費用計	105,751	95,251
当期経常増減額	- 2,578	- 8,887
前期繰越正味財産額	25,610	23,032
次期繰越正味財産額	23,032	14,145

## 役員等

(敬称略・就任順)

会 長	小林 栄三	一般社団法人日本貿易会 会長 伊藤忠商事株式会社 会長
名誉会長	榎田 松瑩	前当センター会長、前日本貿易会会長 三井物産株式会社 顧問
副 会 長	加留部 淳 中村 邦晴 佐藤 洋二 國分 文也 安永 竜夫 (新任) 垣内 威彦	豊田通商株式会社 代表取締役社長 住友商事株式会社 代表取締役社長 双日株式会社 代表取締役社長 丸紅株式会社 代表取締役社長 三井物産株式会社 代表取締役社長 三菱商事株式会社 代表取締役社長
理 事 長	齊藤 秀久	一般社団法人日本貿易会 常務理事
常務理事 (新任)	山口 俊之	一般社団法人日本貿易会 総務グループ部長
理 事	山本 浩幸 菊地美佐子 秋山 勇 吉岡 秀起 武居 秀典 田代 肇 (新任) 宇崎 雅雄 (新任) 新森 健之	豊田通商株式会社 総務部長 三井物産株式会社 環境・社会貢献部長 伊藤忠商事株式会社 伊藤忠経済研究所長 双日株式会社 広報部長 三菱商事株式会社 調査部長 一般社団法人日本貿易会 総務グループ部長 兼 政策業務グループ部長 丸紅株式会社 市場業務部部長補佐 住友商事株式会社 環境・CSR部長
監 事 (新任)	小島 孝夫	一般社団法人日本貿易会 理事
顧 問	池上 久雄 吉田 靖男 三幣 利夫 市村 泰男	初代当センター理事長、元日本貿易会常務理事 元当センター理事長、元日本貿易会常務理事 元当センター理事長、元日本貿易会常務理事 前当センター理事長、前日本貿易会常務理事
参 与 (新任)	宮内 雄史 野津 浩 名鏡 敬治 関 伊知郎	初代当センター常務理事・事務局長 元当センター常務理事・事務局長 元当センター常務理事・事務局長 前当センター常務理事・事務局長

## インド某社アポイント取得・同行商談顛末記

てんまつ  
ほんじょう まこと  
本城 信 (元 住友商事)

### アポイント取得・同行商談編

「本城さん、お得意の国から話があるけど？」2015年9月のABICコーディネーターの西山さんからの電話だ。資料を見てみると、インドの会社「A社」が日本のメーカー「日社」に「技術移転を伴う合併事業の相談で会長が10月に訪日・面談したい」との趣旨だ。要は日社とのアポイント取得と、A社の会長訪日時の同行通訳案件。それならとお請けした。

一番心配だった「日社がABIC会員の電話に取り合ってくれるのか？」という点は、「日本貿易会傘下のABICの会員」と名乗ったら現役時代とほぼ同様な感覚で対応してもらえたので杞憂に終わった。

日社からは「突如英語のメールが来て戸惑っていました。お会いするのは可能です」と都合の良い日時を幾つか教えてもらい、直ちにA社に連絡。即日で会長に報告し連絡する旨返信が会長秘書氏から来たので「最近ではインドも随分対応がスマートなんだ」とちょっと感心した。しかしそうは問屋が卸さない。肝心の会長の確認が一向にこない。督促しても「旅行中でつかまらない」とかで埒が明かない。結局「あの件どうなったんですか」との日社の問いには平謝りで「10月の話はなくなりました」と伝えざるを得なかった。

それから2ヵ月半もたった11月末にA社から突如「2週間後の週末に日社と会えないか」とのメール。「それならこちら」と「10月・12月2回分のアポイント取得料と、同行通訳料を前払いしてもらってから」とちょっとフライングな返事をした。即同意を得たので、コンタクトを再開。A社は「12月がダメなら1月では？」などと言ってくるが、今度は日社の担当者に再三コンタクトしても完全に居留守、ノー・リプライ状態。

ところがここにきてA社の会長から直々にメールが届き始めた。日社のメールのコピーに登場する、窓口の方の上司と思われる方に電話をして何とかご了解いただき、ようやく日社とのアポイントが固まった。A社会長は予定通り

来日し私のアテンドで日社を訪問。日社側も営業や技術のトップの方以下9人の方が応対し第一歩が動き出した。

### 代金回収編

「このままではABICがタダ働きになってしまうかもしれないから」と前払い代金の回収役を引き受けた西山さん、苦労話は昨年（2015年）のクリスマスの日「支払い期限2週間以内、ABIC口座に満額着金」との条件で請求書を出したところから始まった。2週間が到来したが案の定(?)入金がない。再三督促を入れると、「今日送金するから」と1時間後に返事が来たがその後もやはり着金しない。また督促を入れると1時間後に「経理に回している」との連絡。まるでそば屋の出前だ。数日後に今度は「経理から税務署発行の納税証明書が必要」と。「たかが数万円の送金で何で？」とも思われたようだが、「送金が滞っては困るから」と即必要書類を送信したら翌日に振込確認を送ってきた由だ。

ところが、確認入手の翌日にABIC口座に着金した金額からは銀行手数料がしっかり差し引かれていた。早速「足りない」とクレームし、ほぼ1週間後ようやく不足分の送金確認を入手された由。が、今度はこれが着金しない。経由銀行の東京支店まで電話していただいたようだが、のらりくらりの対応で結局不足分が着金したのは会長訪日直前。これで満額回収成功、めでたしめでたしだ。

### 総括

今回の活動に教訓があるとすれば、「会社勤めのとき同様、自分が請け負った仕事はしつこくフォローすること」だと思う。幸い現役時代と異なり、「採算」で追い回されることはないので、新しい人や仕事との出会いなどの副次効果があることも励みとしつつ、今後ともABIC案件を大切にしていきたい。末筆になったが、長丁場を丁寧にフォローしていただいた西山さんに深くお礼を申し上げたい。

**e-mailアドレス・住所等の変更届けはお忘れなく！**

e-mail アドレス・住所などの変更がありましたらご連絡ください。  
転居先不明で返送される例が増えています。

e-mail : mail@abic.or.jp FAX. 03-3435-5970

## 自治体・中小企業支援

## 茨城県の中小企業貿易支援業務

公益財団法人茨城県中小企業振興公社トレード・アドバイザー **いしかわ 清** (元 丸紅)

3.11の震災直後の2011年4月に中小企業貿易支援業務に従事してから2016年3月末まで丸5年間業務に従事した。この間多くの企業が海外取引を拡大したいという要請に基づき支援企業と共に楽しく汗を流した。多くの成功事例の中から二つの事例を紹介したい。

## ベトナム向け生鮮魚輸出

2015年ベトナム向け輸出に注力した。現地の日本食材輸入卸経営者は元日系商社勤務経験があり日本食材に精通している。

2015年現地に2回出張し市場調査とともにその社長に同行し取引先の日本料理店やスーパーに県産品の売り込み商談を行った。ベトナムは南北に1,700kmの海岸線に囲まれ水産物資源が豊富である。現地消費者は魚介類料理を好む。しかし生食する習慣はない。ところがハノイの量販店のすし販売コーナーには夕方50人以上の長蛇の列ができるほどすし、刺し身に人気がある。1パック500円から900円の価格帯。日本料理店でもすし、刺し身が人気である。生魚調理の衛生管理が信頼されている。

たまたま茨城県大洗町のたこ加工業者の商品が現地で売り上げを伸ばしている。特種技術の蒸し加工のたこのうま味を保持した商品が人気を得ている。

現地卸社長からすし、刺し身食材の旺盛な需要に対応するため、たこ加工品の他に高級まぐろや生鮮魚を空輸する業者を紹介してほしいとの要請を受けた。公社の所轄課の了承を得て、友人の商社OBで築地のまぐろ業者を紹介した。その結果2015年8月に4人の経営者が来日して各種まぐろの試食と取り扱い方のセミナーを実施。またこの3月には料理長含む8人が来日してまぐろおよび高級鮮魚の取り扱いセミナーを実施した。現在月間20回の空輸を行い販売拡大中である。取引パイプが広がったことにより県内

の日本酒の販売開発も進んでいる。現地市場が求める食材すなわちmarket inの食材で県内にないものを県外から供給協力し取引パイプを太くできた。これにより日本酒など県内産品の販売拡大が進展した事例である。

## インドネシアからの菓子原料開発輸入

県内の菓子メーカーが割安で安定した菓子原料を開発輸入したいと要望があった。たまたま小職が14年前にJICA専門家としてインドネシア北スマトラ州で輸出支援業務に従事した。その時支援した青年企業家が現在標高1,000mの北タパヌリ県で日本向けにさつまいもおよび大根加工品輸出に健闘している。同地では茨城県の60%の面積に28万人の零細農民が開発を求めている。原料作物の輸出開発により現地農業開発に寄与する主旨の事業案件をJICA草の根事業に申請した結果採択された。既に2年間多くの作物を試験栽培した結果、豆類が周年栽培できるようになった。現地の伝統的な栽培方法も取り入れ周年豆が栽培可能。関係者は将来年間1,000 t 輸出目標に意気込む。現地農業開発に貢献するとともに原料豆の安定供給を実現するめどが付いた。

以上、私が支援した成功事例の中から2件を紹介した。今後の県内企業のますますの発展を祈っている。



日本種豆類の栽培が年中可能



ハノイ量販店のすしパック販売コーナー  
夕方50人余りの長蛇の列ができる



標高700メートルのトバ湖を背景に（左端が筆者）

## 留学生支援

## 春の新入館生歓迎バザー

## 東京国際交流館

5月14日（土）および15日（日）の2日にわたりお台場にある東京国際交流館で、留学生支援バザーが開催された。これは2004年以来途切れることなく続いてきた恒例の行事で、交流館在住留学生およびその家族、交流館勤務者、ABIC会員、近隣の大学や居住者の方々との交流の場ともなっている。

今回は成人用衣服を寄贈品の対象外としたためか、前回に比べ寄贈品の箱数は40箱ほど減少したが、売上高では前回より2万円多い17万円となった。これは台所用品、陶

磁器、小型家電製品など良質の商品を寄贈いただいた結果と思われる。バザー売上金は従来同様に、同館の留学生支援活動に提供させていただいた。ABIC会員および支援企業とその社員、ならびに日本貿易会の役職員等の方々のご支援に厚く感謝申し上げたい。

また、当日はバザー会場にABICコーナーを設け、日本語広場、日本文化教室の勧誘を行い活動会員等4人の方がボランティア活動を引き受けていただいた。

（留学生支援担当コーディネーター）



## 兵庫国際交流会館

4月22日（金）の新入館生ウェルカムパーティーに続き、5月21日（土）、歓迎バザーが開催された。これで4回目になるが、秋の新入生60人はじめ既入館者と一部外部留学生それに当日来られた一般の来場者を加え約190人がバザーに参加した。今回もABIC会員および支援企業とその社員、ならびに日本貿易会の役職員等の方々から66箱を超える広範囲にわたる品物をご寄贈いただき、4万1,000円の売り上げを得ることができた。この売上代金は、同館の留学生支援活動資金として提供させていただいた。ご支援くださった皆さまには厚く感謝申し上げます。

今回は中国、台湾などいわゆる中華系の学生が多く入館したが、ドイツ、フランス、米国、デンマーク等の欧米諸国、それにアジア、アフリカ諸国からはカンボジア、インドネシア、フィリピン、エジプト、エチオピア、アフガニスタン等からも来ている。来日間もない学生にとり皆さまから寄贈された生活必需品の極めて安価での提供は、払底するほど好評であった。関係者からは次回も是非開催して

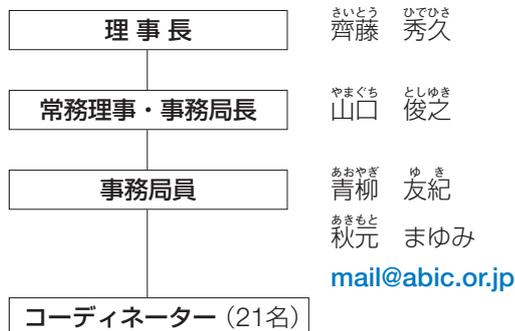
ほしいとの要望があった。バザーには、関西デスクに加え、日本語講師も参加し入館者との交流も行った。ABIC関西デスクでは、東京本部の関係者の協力を得てバザー以外にも、兵庫国際交流会館にて日本語・文化教室を2015年からスタートさせておりさらに広範囲な学生支援活動を目指し、関西在住の会員の皆さま、お知り合いの方にはこの方面のご支援、ご協力もお願いしたい。

（関西デスクコーディネーター）



## ABIC事務局組織

2016年6月1日より下記の体制となりましたのでお知らせ致します。



( ) は兼務者

- 総務・経理 めいきょう けいじ  
名鏡 敬治
- 自治体・中小企業支援グループ かわまた じろう のづ ひろし しらいし いちろう たかつか けんじ やまなか けんじ  
川俣 二郎、野津 浩、白石 一郎、高塚 謙次、山中 健司  
[smesupp@abic.or.jp](mailto:smesupp@abic.or.jp)
- 外国企業支援グループ にしやま かつあき みやうち ゆうじ  
西山 勝昭、宮内 雄史  
[support@abic.or.jp](mailto:support@abic.or.jp)
- 大学等講座グループ もり かずしげ いがり まゆみ ふせ かつひこ おんだ ひではる ばんの まさのり  
森 和重、猪狩 真弓、布施 克彦、恩田 英治、坂野 正典  
[univ@abic.or.jp](mailto:univ@abic.or.jp)
- 小中高校国際理解教育グループ にいづま しゆんいち  
新妻 純一  
[krikai@abic.or.jp](mailto:krikai@abic.or.jp)
- 留学生支援グループ たなか たけお くわがた いきお  
田中 武夫、鋳形 勲  
[abicodaiba@abic.or.jp](mailto:abicodaiba@abic.or.jp)
- 中南米デスク (森 和重)  
[chunanbei@abic.or.jp](mailto:chunanbei@abic.or.jp)
- 関西デスク ふじわら てるあき たちばな ひろし よしとみ しげたか まつお けんじ かしむら かおる  
藤原 照明、橘 弘志、吉富 茂隆、松尾 謙二、鹿志村 馨  
[kansai-desk@abic.or.jp](mailto:kansai-desk@abic.or.jp)
- 産学共同プロジェクト (橘 弘志、松尾 謙二、新妻 純一)

## 事務局だより

### 関西会員懇親会

2016年3月23日(水) 18時～、ホテルグランヴィア大阪「孔雀の間」において関西会員懇親会を開催しました。ABIC関西地区を中心とする約60人の参加者を得て、齊藤理事長の挨拶および乾杯の後、参加者の活発な交流が行われ、懇親を深めました。



齊藤理事長挨拶

## 会員の種類

種類	内容	年会費
正会員	センターの活動を推進する個人、法人及び団体。 (理事会の承認を得て入会)	法人及び団体 1口 50,000円
		個人 1口 10,000円
賛助会員	センターの趣旨に賛同し、会費を納める活動会員、並びに個人、法人及び団体。	法人及び団体 1口 10,000円
		個人 1口 5,000円
活動会員	センターに登録し、センターの事業に参加しようとする個人。	不要 — —

### 正会員

#### 団体・法人 (17社) 〈社名五十音順〉

〈10口〉 (一社)日本貿易会 伊藤忠商事(株) 住友商事(株) 双日(株) 豊田通商(株) 丸紅(株) 三井物産(株) 三菱商事(株)  
 〈4口〉 (株)日立ハイテクノロジーズ 〈2口〉 稲畑産業(株) 岩谷産業(株) 長瀬産業(株) 阪和興業(株)  
 〈1口〉 兼松(株) 興和(株) JFE商事(株) 蝶理(株)

#### 個人 (11名) 〈入会順・敬称略〉

池上 久雄 寺島 実郎 小島 順彦 宮原 賢次 吉田 靖男 岡 素之  
 佐々木 幹夫 勝保 宣夫 〈3口〉 小林 栄三 槍田 松瑩 〈3口〉 市村 泰男

### 賛助会員

#### 法人 (5社) 〈社名五十音順〉

(有)イーコマース研究所 (株)エックス・エヌ 協同木材貿易(株) (一社)国際行政書士機構  
 NPO法人賛否両論 〈3口〉

#### 個人 (404名) 〈敬称略・氏名五十音順〉

〈5口〉 廣瀬一郎 〈3口〉 太田弘之 前田茂 〈2口〉 遠藤寿一 小川秀洋 鬼山敬邦 川俣二郎 久佐賀義光  
 公平伸夫 古知屋順 三幣利夫 篠原博 白石一郎 新藤哲雄 関伊知郎 高廣次郎 多田勝彦 田中武夫  
 新妻純一 原芳道 坂東寛隆 藤井眞 細井進 前田耿史 松井史郎 松尾謙二 松岡鉄 宮内雄史 名鏡敬治  
 柳沢信義 山田芳正 山本一良 米代憲雄 〈1口〉 会川精司 相澤裕 相原正和 赤尾義弘 赤澤克夫 赤田堅  
 芦刈茂樹 東光子 安達公一 安達晋 厚浦孝之 安部忠 阿部徹 荒木幸成 有田五郎 有田捷一 居内律治  
 伊賀豊和 猪狩眞弓 生島幸哉 池田正久 石川清 石田新一 石橋満 市川彬 伊藤栄太郎 伊東孝之 伊東泰  
 井上良彦 今井明良 今井正孝 岩本洋之 植木正憲 上田巖 植田俊 上田博晟 上野和郎 上森義美  
 宇佐見和彦 薄葉徹郎 内川博文 漆崎隆司 江藤茂雄 榎友嘉 榎本啓一郎 榎本盛明 江幡吉信 遠藤恭一  
 遠藤研二 遠藤眞喜子 大木隆 大久保浩司 大久保徳衛 大藏八郎 大浩義之 大坂和夫 太田俊一 太田宏  
 大西稔男 大橋幸多 大森日出太郎 小笠原明生 小笠原正広 岡部紘 岡部好夫 岡本勝彦 岡本正 岡本徹  
 小川洋志郎 小口良喜 小國輝雄 奥畑和夫 小沢規夫 小澤清水 小畑克之 織辺重之 恩田英治 柿山章  
 角井信行 鹿志村馨 糟谷純一 片岡紀二 片野無事生 片山丈義 加地潤二 加藤貴美恵 加藤正芳 加藤保弥  
 加藤恒 金井好弘 嘉根俊治 金子和夫 金子康之 神谷誠一 川嶋則男 川副和之 川村勝司 川本康博  
 川本恒彦 関林亨平 岸達也 吉川和夫 木村滋 木村秀志 木村行裕 久木田修司 櫛田光彦 楠井裕章 工藤章  
 久保田隆 久保山毅 隈元泰弘 久山周孝 倉地弘之 栗田政彦 来馬公夫 黒岩浩一 黒岡誠一 鋤形勲

(賛助会員続き)

神野俊昭 郷原康親 古園井良 児玉正博 後藤克 小西悟 小畠孝治郎 小林正己 小松正和 小峯征三郎  
 小室洋三 近野治夫 齋藤幸博 酒井邦展 坂井啓治 坂上恵一 坂本章 坂本俊寛 坂本行正 崎尾収 作田幸夫  
 笹岡太一 笹岡治男 佐藤貴実雄 佐藤徹 佐藤充宏 佐藤隆二 佐良木忠男 沢田修吾 澤田豊治 塩野寛次  
 志岐明弘 七字道彦 信田光久 島悠紀夫 島谷豊 下島泉 城台巖 白土茂雄 城田比佐子 水光勲 須賀直比古  
 杉下由紀子 鈴木明 鈴木一三 鈴木惟高 鈴木成高 鈴木紘司 鈴木昌宏 鈴木松子 須藤實 住井純三 関晃典  
 関晴至 関統造 関口幸男 園田真一 高崎浩敏 高嶋宏臣 高田忍 高田弘 鷹津俊一 高塚謙次 高梨和彦  
 竹下浩 竹田信志 竹山克則 田島基二 橋弘志 田中昭彦 田中功 田中剛 田中徹郎 田中英樹 田中理明  
 田邊正明 谷川達夫 谷口武彦 玉木興島 丹治敬 淡野武司 千野公弥 千原長美 柘植幸弘 柘植要介 辻哲彦  
 辻萬亀雄 辻喜男 辻尾嘉文 土屋英五 都築秀之 津守克平 手塚正明 寺澤昌敏 寺田好純 東宮邦雄 遠山晃  
 戸川順治 徳田均 都丸啓吉 富島紘一 友國洋 豊原道雄 中倉弘紀 長坂保男 中嶋昭 中嶋鴻明 中島隆一  
 中園智子 仲田慎太郎 永田明司 中西孝之 中野英俊 永峰千年 中村彰秀 中村静雄 中村昂 中村紀雄  
 中村恭紀 梨本進 名達博吉 成重正和 西以久夫 西桂二郎 西川裕治 西澤俊一 西山勝昭 似鳥進 新田充成  
 根岸徹 根岸史修 野口順一 野津浩 野村哲三 則満洋祐 橋本裕一 橋本政彦 橋本勝 蓮沼恒郎 長谷川満  
 畑宏幸 畑野浩 服部俊朗 花岡信明 羽生憲夫 馬場克彦 浜田元雄 林進 林常介 林裕二 林良英 原田純  
 葉利博 坂野正典 日笠徹 疋田和三 肥後照雄 菱川治 日比野圭三 平野實 廣田幸男 福井隆治 福田毅  
 福永信一 藤井吉郎 藤井希祐 藤井義親 藤井重隆 藤田敬子 藤田卓 藤村登 藤森伸知 藤原照明 布施克彦  
 舟橋金之介 古瀬輝明 古橋肇 保坂庄司 星野和俊 星野三喜夫 堀英一 堀正美 堀江博 前田祥治 前田直明  
 増田政靖 増本光男 松浦義則 松下敏明 松村直治 松本信司 松本時男 松山功 松山久 丸山松男  
 三上亜佐橘 三神博美 三木喜道 水野伸二 味田村正行 三栗敏 光山武志 南賢 峯本晴輝 宮井利之  
 宮内貴正 宮内正敬 宮川正裕 宮越忠晴 宮崎善嗣 宮本正明 三好賢治 武藤滋郎 村澤嵩 村瀬省三  
 村林栄彦 持田修二 望月孜 百田功 森悦郎 森岳三 森和重 森達也 森秀夫 森川建夫 森田貴彦 森松直毅  
 矢尾板健二 柳田敏明 山内文裕 山内幸雄 山岸正雄 山崎和彦 山路裕之 山下勝博 山田雅司 山邑陽一  
 山本秀一 山本博勝 横井正豊 横田納 横山泰雄 吉川正男 吉田紘 吉田房子 吉田泰興 吉富茂隆 米谷俊二  
 鷺頭三郎 和田洋 渡邊健三 渡邊春樹 渡邊義夫

活動会員 2,688名

(2016年5月末現在)

## 賛助会員入会のお願い

ABICの活動にご賛同いただき、資金的な援助をしていただける活動会員及びその他の個人の方、並びに法人及び団体の皆様のご入会をお願い申し上げます。

会員入会のお問い合わせ・連絡先

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)

〒105-6123 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル23F

TEL : 03-3435-5973 FAX : 03-3435-5970 E-mail : mail@abic.or.jp